

運用報告書 (全体版)

第9期<決算日2022年7月11日>

新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/その他資産 (バンクローン)	
信託期間	2013年7月12日から2023年7月11日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	投資信託証券。
	ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンドー・JPYヘッジド・クラス	米ドル建ての企業向けバンクローン (貸付債権)。
	DIAMマネーマザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として米ドル建ての企業向けバンクローン (貸付債権) に実質的な投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンドー・JPYヘッジド・クラス (以下「WAローン・ファンド」といいます。) 円建受益証券 内国証券投資信託 (親投資信託) DIAMマネーマザーファンド受益証券 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、WAローン・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
組入制限	新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	DIAMマネーマザーファンド	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。分配金額は、上記分配対象収益範囲のうち原則として利子・配当等収益を中心に、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)」は、2022年7月11日に第9期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス		投資信託 組入比率	債券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税金 込み	騰落 中率	(参考指数)	騰落 中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期 (2018年7月11日)	10,141	10	0.5	2,869.60	4.5	96.5	—	1,465
6期 (2019年7月11日)	10,114	10	△0.2	2,982.17	3.9	97.2	0.3	1,120
7期 (2020年7月13日)	9,451	0	△6.6	2,932.83	△1.7	97.2	0.5	696
8期 (2021年7月12日)	10,166	10	7.7	3,257.58	11.1	96.4	—	466
9期 (2022年7月11日)	9,702	0	△4.6	3,161.59	△2.9	96.4	0.9	420

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、米ドル建てのバンクローンを対象として、S&Pが定める一定の条件を満たしている銘柄によって構成される指数です。

(注5) S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません (以下同じ)。

(注6) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス		投資信託 組入比率	債券組入 比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
(期首) 2021年7月12日	円	%		%	%	%
7月末	10,166	—	3,257.58	—	96.4	—
8月末	10,151	△0.1	3,254.16	△0.1	97.0	—
9月末	10,169	0.0	3,269.06	0.4	97.3	—
10月末	10,240	0.7	3,290.38	1.0	97.4	—
11月末	10,254	0.9	3,298.77	1.3	96.3	0.8
12月末	10,241	0.7	3,298.21	1.2	96.4	0.8
2022年1月末	10,258	0.9	3,314.00	1.7	96.2	0.9
2月末	10,284	1.2	3,328.36	2.2	96.7	0.9
3月末	10,238	0.7	3,308.15	1.6	97.2	0.9
4月末	10,231	0.6	3,308.04	1.5	97.2	0.9
5月末	10,276	1.1	3,322.82	2.0	96.3	0.9
6月末	9,966	△2.0	3,227.40	△0.9	96.4	0.9
(期末) 2022年7月11日	9,776	△3.8	3,183.00	△2.3	96.4	0.9
	9,702	△4.6	3,161.59	△2.9	96.4	0.9

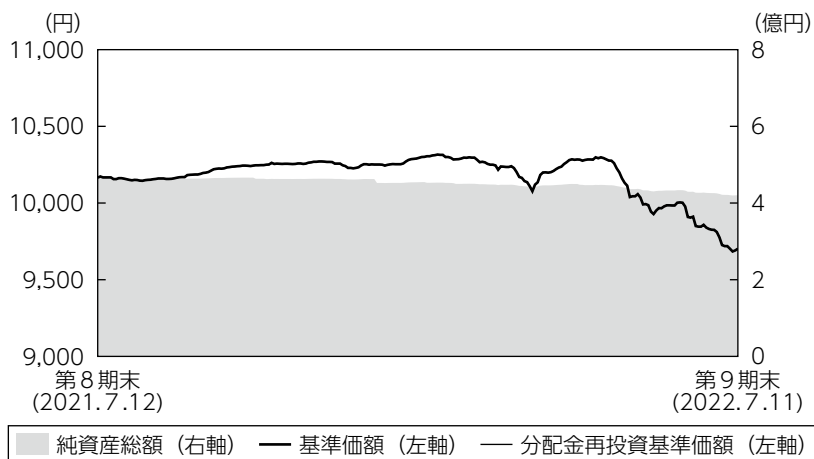
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■当期の運用経過（2021年7月13日から2022年7月11日まで）

基準価額等の推移



第9期首：10,166円
第9期末：9,702円
(既払分配金0円)
騰落率：△4.6%
(分配金再投資ベース)

- 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

主として米ドル建ての企業向けバンクローンに実質的な投資を行い、また対円で為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。このような運用を行った結果、当期間における基準価額は、インフレ懸念を受けて米連邦準備理事会（FRB）が金融引き締めを実施したことから市場のリスク回避姿勢が強まり、バンクローン市場が下落した影響を主因に下落しました。

投資環境

作成期のバンクローン市場は、前半は、新型コロナウイルスのワクチン普及を受けて世界経済が回復し、市場のリスク選好姿勢が強まったことで堅調に推移しました。2022年に入り、ロシアのウクライナへの軍事侵攻など、地政学リスクの上昇や世界的にインフレ懸念が台頭したことでF R Bが金融引き締め姿勢に転じたことからリスク性資産が調整し、バンクローン市場も下落し、作成期末を迎えました。



国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

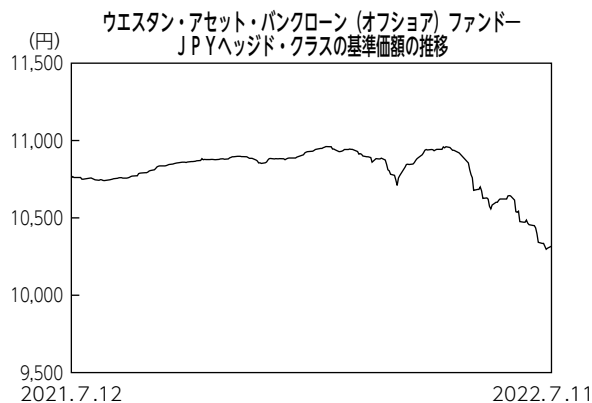
ポートフォリオについて

●当ファンド

運用方針に従い、ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Yヘッジド・クラス（以下「WAローン・ファンド」）の高位組み入れを継続しました。2021年10月1日より、日本短期公社債マザーファンドからD I AMマネーマザーファンドへ銘柄入替を実施しました。また、実質的に対円で為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。

●WAローン・ファンド

信用格付け別ではB格を中心にし、また業種別では消費者関連、テクノロジーセクター等を中心としたポートフォリオを構築しました。これに加えて、市場動向を考慮しつつ、リスクに見合ったリターンを追求し、銘柄選択を行いました。



●日本短期公社債マザーファンド

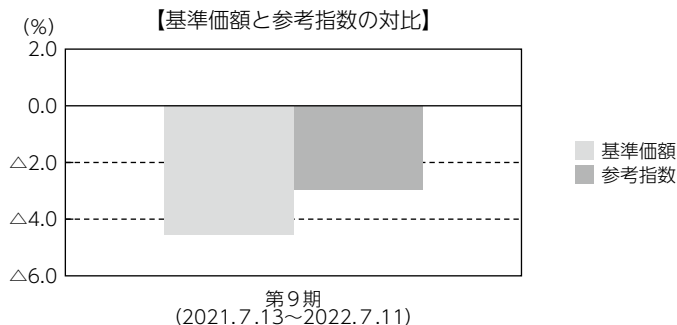
●D I AMマネーマザーファンド

コールローンで運用を行い、2021年10月1日から残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは基準価額と参考となるS&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックスとの騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2021年7月13日 ～2022年7月11日
当期分配金(税引前)	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	92円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金(税引前)」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

今後とも運用方針に従いWAローン・ファンドおよびD I A Mマネーマザーファンドの投資を継続し、高水準のインカムゲインの確保を目指して運用を行います。

●WAローン・ファンド

F R Bの金融引き締めによる景気後退懸念はあるものの、バンクローン市場は、金利上昇に一定の耐性を有することにより投資家からの需要が期待できるため、中期的には堅調に推移すると考えています。

格付け別ではB格を中心とし、セクター別では、景気の影響を受け易くボラティリティ上昇が懸念される資源エネルギーセクターなどを低位としつつ、消費者関連セクター、テクノロジーセクターなどを中心としたポートフォリオを維持します。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2021年7月13日 ～2022年7月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	65円	0.636%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,175円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(39)	(0.384)	
(販売会社)	(22)	(0.219)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.003 (0.003)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	65	0.639	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

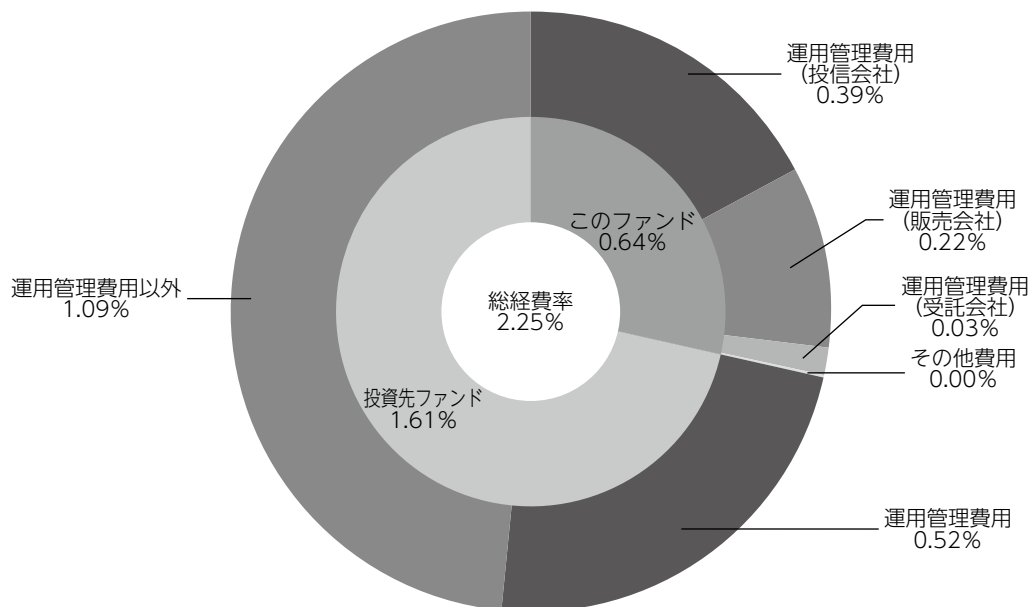
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.25%です。



総経費率 (①+②+③)	2.25%
①このファンドの費用の比率	0.64%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.09%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2021年7月13日から2022年7月11日まで）
投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 債	ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンド-JPYヘッジド・クラス	千口 -	千円 -	千口 25,155.61	千円 27,400

(注) 金額は受渡金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2021年7月13日から2022年7月11日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
日本短期公社債マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 5,069	千円 5,089
D I A M マネーマザーファンド	5,049	5,087	-	-

■**利害関係人との取引状況等**（2021年7月13日から2022年7月11日まで）

【**新光バンクローン・ファンド・ネオ（円ヘッジ型）**における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【**日本短期公社債マザーファンド**における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【**D I A M マネーマザーファンド**における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 901	百万円 400	% 44.5	百万円 -	百万円 -	% -

平均保有割合 0.4%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ン ド 名	期首(前期末)	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンドーJPYヘッジド・クラス	418,058.305	392,902.695	405,357	96.4
合 計	418,058.305	392,902.695	405,357	96.4

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
日本短期公社債マザーファンド	5,069	—	—
D I A M マネーマザーファンド	—	5,049	5,084

■投資信託財産の構成

2022年7月11日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
投資信託受益証券	405,357	96.1
D I A M マネーマザーファンド	5,084	1.2
コール・ローン等、その他	11,411	2.7
投資信託財産総額	421,853	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年7月11日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	421,853,746円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	11,411,129
投 資 信 託 受 益 証 券(評 価 額)	405,357,710
D I A M マ ネ ー マ ー ジ ー フ ェ ン ド(評 価 額)	5,084,907
(B) 負 債	1,396,213
未 払 信 託 報 酬	1,389,912
そ の 他 未 払 費 用	6,301
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	420,457,533
元 本	433,377,079
次 期 繰 越 損 益 金	△12,919,546
(D) 受 益 権 総 口 数	433,377,079口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	9,702円

(注) 期首における元本額は459,020,316円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は25,643,237円です。

■損益の状況

当期 自 2021年7月13日 至 2022年7月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△2,259円
受 取 利 息	123
支 払 利 息	△2,382
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△17,221,383
売 買 益	491,994
売 買 損	△17,713,377
(C) 信 託 報 酬 等	△2,888,757
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△20,112,399
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,749,400
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,443,453
(配 当 等 相 当 額)	(1,255,137)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,188,316)
(G) 合 計(D + E + F)	△12,919,546
次 期 繰 越 損 益 金(G)	△12,919,546
追 加 信 託 差 損 益 金	4,443,453
(配 当 等 相 当 額)	(1,255,137)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,188,316)
分 配 準 備 積 立 金	2,749,400
繰 越 損 益 金	△20,112,399

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	1,255,137
(d) 分 配 準 備 積 立 金	2,749,400
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,004,537
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	92.40
(g) 分 配 金	0
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、無分配とさせていただきます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資対象の「日本短期公社債マザーファンド」を、余裕資金の運用という同じ目的の「D I AMマネーマザーファンド」に変更しました。

(2021年10月1日)

ウエスタン・アセット・バンクローン (オフショア) ファンド － J P Yヘッジド・クラス

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主として米ドル建ての企業向けバンクローン（貸付債権）に投資することで、インカム収入の確保を目指して運用を行います。 原則として、対円で為替ヘッジを行います。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、純資産総額の80%以上をバンクローンに投資します。 ・原則として、純資産総額の15%を上限に米ドル建ての高利回り社債などに投資する場合があります。 ・同一発行体のバンクローン、有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・流動性の低い有価証券への投資は、純資産総額の15%を上限とします。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないこととします。
決 算 日	12月末
関 係 法 人	管理会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド 投資顧問会社：ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー 副投資顧問会社： ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社（東京） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーイー・リミテッド（シンガポール） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ピーティーワイ・リミテッド（メルボルン） ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・DTVM・リミターダ（サンパウロ） 受託会社兼管理事務代行会社：BNYメロン・ファンド・マネジメント（ケイマン）リミテッド 副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 登録機関兼名義書換代理人：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン シンガポール支店
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.535%程度 上記料率には、管理会社、投資顧問会社、副投資顧問会社、受託会社兼管理事務代行会社、保管受託銀行ならびに副管理事務代行会社への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額が設定されているものがあるため、取引頻度などにより上記料率を上回る場合があります。

「ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドー」 P Yヘッジド・クラス」は、「ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンド」を構成する個別クラスとなっております。

「ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンド」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものでありますが、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドの内容

(1) 損益計算書

2021年12月31日に終了した年度

	米ドル
投資利益	
利息	1,510,538
費用	
ローン・サービシング	152,467
管理会社報酬	139,247
保管	87,758
専門家	49,675
管理事務代行、会計代行および名義書換代理人	8,880
受託者報酬	8,244
その他	15,142
費用合計	461,413
投資純利益	1,049,125
投資、外貨換算および外貨建取引、デリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	
実現純利益（損失）	
投資	371,869
外貨建取引	(1,431)
為替予約	(485,206)
実現純（損失）	(114,768)
未実現利益（損失）の純変動額	
投資	86,793
為替予約	(58,320)
アンファンデッド取引	305
未実現利益（損失）の純変動額	28,778
投資、外貨換算および外貨建取引、デリバティブ取引に係る実現・未実現純利益（損失）	(85,990)
運用による純資産の純増加額	963,135

(2) 資産・負債計算書

2021年12月31日現在

	米ドル
資産	
投資有価証券、公正価値（取得原価23,926,945米ドル）	24,043,153
現金同等物	3,743,576
投資売却未収入金	1,419,641
未収利息	98,935
為替予約に係る未実現利益	974
資産合計	<u>29,306,279</u>
負債	
投資購入未払金	3,765,123
為替予約に係る未実現損失	53,006
未払管理会社報酬	32,314
未払費用	470,544
負債合計	<u>4,320,987</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	<u>24,985,292</u>
JPYヘッジド・クラス	
3,786,037米ドル／399,666,245口	<u>0.010</u>
USDクラス	
21,199,255米ドル／238,514口	<u>88.881</u>

(3) 組入上位銘柄

2021年12月31日現在

銘柄名	通貨	比率
COVENANT SURGICAL PARTNERS COVSUR TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.8%
8TH AVENUE FOOD & PROVI POST TL 2L USD	アメリカ・ドル	1.4
ALTERRA MOUNTAIN COMPANY ALTMOU TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.2
TRANSDIGM INC TDG TL F 1L USD	アメリカ・ドル	1.2
EYECARE PARTNERS LLC EYEPAR TL 1L USD	アメリカ・ドル	1.2
COWEN INC COWN TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.1
REDSTONE HOLDCO 2 LP RSAS TL 2L USD	アメリカ・ドル	1.1
Donlen - Hertz fleet management business	アメリカ・ドル	1.1
VM CONSOLIDATED INC AMETRA TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.1
GARDA WORLD SECURITY GWCN TL B 1L USD	アメリカ・ドル	1.1
組入銘柄数	216銘柄	

(注1) 比率は、ウエスタン・アセット・バンクローン（オフショア）ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

D I A M マネーマザーファンド

運用報告書

第13期 (決算日 2022年4月5日)

(計算期間 2021年4月6日～2022年4月5日)

D I A M マネーマザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	百万円 1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167
11期(2020年4月6日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	1,139
12期(2021年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,064
13期(2022年4月5日)	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

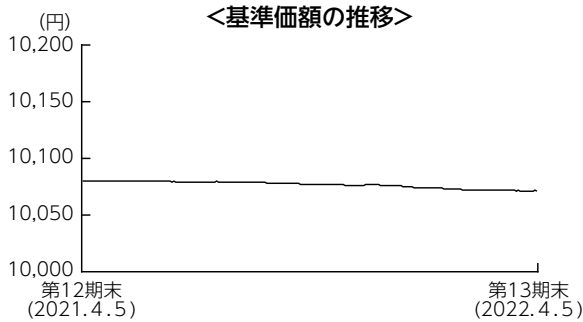
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2021年 4 月 5 日	10,080	% -		% 62.4		% -	% -
4 月 末	10,080	0.0		61.9		-	-
5 月 末	10,080	0.0		63.1		-	-
6 月 末	10,079	△0.0		82.8		-	-
7 月 末	10,079	△0.0		63.7		-	-
8 月 末	10,078	△0.0		68.1		-	-
9 月 末	10,077	△0.0		68.1		-	-
10 月 末	10,077	△0.0		74.2		-	-
11 月 末	10,076	△0.0		74.2		-	-
12 月 末	10,074	△0.1		76.4		-	-
2022年 1 月 末	10,073	△0.1		76.4		-	-
2 月 末	10,072	△0.1		76.4		-	-
3 月 末	10,071	△0.1		76.4		-	-
(期 末) 2022年 4 月 5 日	10,071	△0.1		76.3		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2021年4月6日から2022年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,071円となり、前期末比で0.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

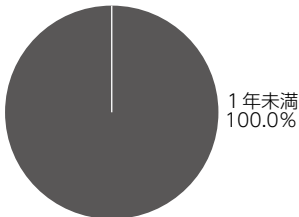
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

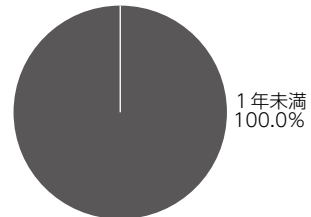
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2021年4月6日から2022年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
国	内	千円	千円	
		国債証券	911,871	(400,000)
		特殊債券	—	(263,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年4月6日から2022年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 911	百万円 400	% 44.0	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	910,000	910,671	76.3	—	—	—	76.3
合 計	910,000	910,671	76.3	—	—	—	76.3

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 1 3 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	210,000	210,060	2022/06/01
4 1 5 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,120	2022/08/01
4 1 6 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,154	2022/09/01
4 1 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,216	2022/11/01
4 1 9 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,121	2022/12/01
合 計	—	910,000	910,671	—

■投資信託財産の構成

2022年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%	千円	%
	910,671	76.3	910,671	76.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	282,092	23.7	282,092	23.7
投 資 信 託 財 産 総 額	1,192,764	100.0	1,192,764	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,192,764,024円
コ ー ル ・ 口 ン 等	281,847,683
公 社 債(評価額)	910,671,900
未 収 利 息	221,428
前 払 費 用	23,013
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,192,764,024
元 本	1,184,299,773
次 期 繰 越 損 益 金	8,464,251
(D) 受 益 権 総 口 数	1,184,299,773口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,071円

(注1) 期首元本額	1,056,034,563円	みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルリアルコース	9,925円
追加設定元本額	148,321,314円	USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
一部解約元本額	20,056,104円	USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
(注2) 期末における元本の内訳		マシュエズ・アジア株式ファンド	29,641,137円
短期ハイイールド債券ファンド (ヘッジあり)	990,775円	One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円	One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円	One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
新光バンクローン・ファンド・ネオ (円ヘッジ型)	5,049,059円	世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,088,285円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	98,095円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円	ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	494,102円	期末元本合計	1,184,299,773円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	48,517円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
クルーズコントロール	990,000,991円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジリアルコース>	10,530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<D/C年金>	9,935円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円		
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円		

■損益の状況

当期 自2021年4月6日 至2022年4月5日

項	目	当	期
(A)	配当等収益		1,715,799円
	受取利息		1,785,127
	支払利息		△69,328
(B)	有価証券売買損益		△2,682,620
	売却		△2,682,620
	買入		
(C)	当期損益金(A+B)		△966,821
(D)	前期繰越損益金		8,469,295
(E)	解約差損益金		△160,435
(F)	追加信託差損益金		1,122,212
(G)	合計(C+D+E+F)		8,464,251
	次期繰越損益金(G)		8,464,251

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。